



さとやま学校だより.18

NPO法人 さとやま学校・東京

〒190-0202 東京都西多摩郡檜原村藤原 4814
旧藤倉小学校 info@satoyama-gakkou.org

2019年4・5月号

特集

今、里山の魅力とは



NPO法人さとやま学校・東京の活動も3年目を迎えました。これまでは農業や食文化体験の活動を中心に行って来ましたが、やればやるほど見えてくるのは、里山の深い魅力です。それをもっと多くの人たちに伝えて行くことが、これからのNPO活動の課題だと思っています。

は、人が自然と丁寧に関わることで生み出されます。熱心に世話をすれば、畑からは美味しい作物を収穫することが出来、知恵と技があれば、山から生活に必要なものを入手したり、取ってきた材料で様々なものを作ったりすることが出来ます。自然というものは、関われば関わるほど新しい発見があり、そ

では、私たちがNPOの活動を通して伝えたい里山の魅力とは何か？ その一つは、身近な自然を活用している里山の創造的な暮らしそのものです。今の都会の生活は、ほとんど商品消費することで組み立てられ、お金を持っているか持っていないかで、生活の質が決まってしまうと言っても過言ではありません。しかし、里山の暮らしの豊かさは、人が自然と丁寧に関わることで生み出されます。熱心に世話をすれば、畑からは美味しい作物を収穫することが出来、知恵と技があれば、山から生活に必要なものを入手したり、取ってきた材料で様々なものを作ったりすることが出来ます。自然というものは、関われば関わるほど新しい発見があり、そ

の奥深さは底なしです。ここ5年くらい檜原村にも若い移住者が増えて来て、とてもいきいき暮らしているのは、そんな里山のクリエイティブな暮らしのあり方に引きつけられているからでしょう。当NPOでは、「斜面畑再生プロジェクト」などを通して、伝統的な里山の暮らしを継承したり、体験したりする場を作っています。それらは、移住しないまでも、都会の暮らしの中に里山生活的な要素を組み込みたい人が、継続して参加できるような活動です。昔ながらの里山の暮らしを知ると、現代の都会の暮らしのあり方を再考する機会にもなります。遊休斜面畑はたくさんあり、いつも一緒に作業をしてくださる方を募集中。ご興味ある方、ぜひご参加ください。また、里山の魅力は、表面的に眺めているだけでは見過ごしてしまふことが多々あります。例えば、今まで畑では、作物栽培ばかりに気を取られ、周辺に対する目配りがなかったのですが、最近 畑ではもつと面白いことが起こっていることに気づきました。微生物が畑を元気にしていたり、周辺に生えている野草たちが、実は食べ物



としてもすこかったり、虫から作物を守ってくれたり、あるいは天然マルチとして使えたり・・・畑の自然の営みの中にもワクワクするようなストーリーがあり、それを知ると里山の環境保全をしなければという意欲も湧いてきます。今年も、そんな里山の自然を知る試みをプログラム化し、参加者の皆さんと一緒に学ぶ場を作って行くことにしました。新年度のプログラムについては、ホームページや、当ニュースレターを通してお知らせして行く予定です。ぜひ、私たちと一緒に里山の魅力を発見してください。

活動報告

2/3 (H) ほっこり市



毎年冬になると檜原村で開催される弘沢の滝冬まつり、氷結することの有名は弘沢の滝をテーマとした様々なプログラムが組まれています。その中でもメインの催しは2月上旬の日曜日に、滝の入口で開催されるほっこり市。規模は小さいですが、檜原村の掘り出し物のグッズや食べ物などと出会えるとてもアットホームなお祭りです。当NPOも毎

年出店しており、今年も栗(あわ)ぜんざいと自家焙煎コーヒーを販売しました。

祭りを彩るステージの音楽演奏や、定番のひのじやがくんの自転車乗りなどのパフォーマンスも、ますます充実していくこの冬まつり。これからの進化も楽しみみです。

3/3 (H) お味噌作り

昨秋に畑で収穫し、12月に脱穀した地大豆を使って、味噌づくりを行いました。早朝から大豆を薪で炊



イベント案内

4/14 (H) 重要文化財小林家住宅 つつじ祭り

き約5時間、柔らかくなった大豆を臼と杵を使って潰し、塩と麴を混ぜて樽の中へ仕込みました。使った麴は、麦麴と米麴の2種類。それぞれ20キロ分のお味噌を作りました。一番熱心に作業に参加していた6歳女子の参加者に感想を聞いたら、いろんな作業の全部楽しかった!とのこと。味噌作りは、子どもたちにとつて、とても楽しめる作業のようです。参加者へのお土産は、昨年仕込んだ味噌。風味よく仕上がっていて、喜んでいただけました

山岳民家と周囲を華やかに彩るミツバツツジ群落の組み合わせは、この時期必見の美しさです。地元手作りのお祭りで、藤倉獅子舞の上演など地域の伝統文化や暮らしに触れる貴重な機会を提供しています。当NPOは、今回も栗ぜんざいとコーヒーを販売します。ぜひ、ご来場ください。

- 日時 4月14日(日曜日) 10時~13時
- 会場 重要文化財 小林家住宅
- お問い合わせ 小林家住宅管理棟 090-5543-0750
- (10時~16時 火曜日定休)

事務局から

◎2019年度会員受付中
運営に参加していただく正会員、ご支援をお願いする賛助会員、ボランティアとして活動に参加していただくサポーター会員を募集中です。詳細は、事務局までお問い合わせください。

◎畑仕事(斜面畑再生プロジェクト)の予定

ほぼ毎週末活動します。4月~5月にかけてはサトイモ、ヤツガシラなどの植え付け、栽培中のジャガイモや麦類の手入れなどを行います。天候等によって日程が変更になることもあります。参加ご希望の方は、事前にお知らせください。

檜原村旧藤倉小学校を拠点に活動をスタートした「NPO法人さとやま学校・東京」の活動状況をみなさまにお伝えするための隔月情報紙です。みなさまのご感想やご意見をお待ちしています。

090-2644-1996
(事務局スタッフ:川上玲子、杉拓也、安田治文、レイアウト:樋口潤一)

